事務事業評価シート　平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

所管課	体育振興課	担当班	体育振興班

事務事業名	コード	42650	東京オリンピック事前キャンプ地誘致事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	10	5	1

施策体系					
基本施策	17	交流の促進	根拠法令	東京オリンピック事前キャンプ地誘致推進本部設置要綱	
施策の展開	31	交流事業の促進	戦略事業	150	オリンピック事前キャンプ地誘致
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏構想
- ☑ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間
- ☑ 単年度繰返
  - ☑ 平成 元 年度～
  - ☐ 開始年度不詳
- ☐ 期間限定複数年度
  - 平成 年度～
  - 平成 年度まで

② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない

東京オリンピック事前キャンプ地誘致推進本部及び推進部会を運営し、卓球、陸上競技等の事前キャンプ地の誘致に取り組む。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催機会を捉え、旭市を事前キャンプ地として誘致することで、市のスポーツ及び産業の振興に資するため、東京オリンピック事前キャンプ地誘致推進本部を設置した。平成26年11月1日、設置要綱を施行。

④事務事業に関する課題・環境の変化

平成28年度から推進本部の事務局が企画政策課から体育振興課へ移行。総合体育館の事前トレーニング（キャンプ）候補地ガイド（紹介リスト）への登録を目指す。また日独交流事業、千葉県知事のドイツ訪問の機会を捉え、ドイツとの事前キャンプ地の交渉を進めたい。

⑤事務事業に対する住民からの意見等

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（29年度の決算）　単位：千円

1.オリンピック事前キャンプ地誘致活動経費	8,673	ドイツ訪問時旅費、旭市PR品、総合体育館看板英語標記、パラ対応卓球台8台購入、既存卓球台8台天板交換

② 特定財源の内訳（29年度の決算）　単位：千円

1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	8,673	地域振興基金繰入金

前年度増減理由	ドイツへ訪問し、誘致活動を行ったため。

		単位	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）
事業費 費目内訳	1. オリンピック事前キャンプ地誘致活動経費	千円	0	0	360	8,673	6,007
		千円					
		千円					
		千円					
		千円					
事業費	事業費計 (A)	千円	0	0	360	8,673	6,007
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円				8,673	6,000
	5. 一般財源	千円	0	0	360	0	7

従事職員数	常時	1 人	最大	6 人	×	17 日	＝	延べ	102 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

29年度実績（29年度に行った主な活動）

■5月ドイツへ訪問（ドイツ卓球連合会長・ナショナルチーム監督・デュッセルドルフ市長・ボルシア代表と面談し、口頭ではあるが、「事前キャンプを実施するなら、旭市で行う」と約束をいただく）
■6月ITTFワールドツアー視察（ドイツチームへアピール）　■7月ビーチクリーン（サーフィン）
■9月アスリートパスウェイ（卓球合宿）、宮崎義仁氏（オリンピアン）講演会、デュッセルドルフのタベに参加（デュッセルドルフ市長・県知事と面談）　■11月パラスポーツフォーラム（あすチャレ）
■12月ホストタウンに登録、東京オリパラ担当大臣との意見交換会
■1月全日本卓球選手権視察　■2月ホストタウンサミットへ参加

	③ 活動指標名	単位	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（計画）
ア	≪オリンピック≫視察件数	件	―	1	0	0	3
イ							

目的

② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）

対象	≪オリンピック≫事前キャンプ実施国
意図	・旭市の魅力、おもてなしをアピールし、事前キャンプ実施国との交渉を成功させ、キャンプ地誘致につなげる。
対象	
意図	

	④ 成果指標名	単位	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（計画）
ア	≪オリンピック≫事前キャンプ地誘致国の決定	国	―	―	0	1	1
イ							

(4)事務事業優先度評価の結果

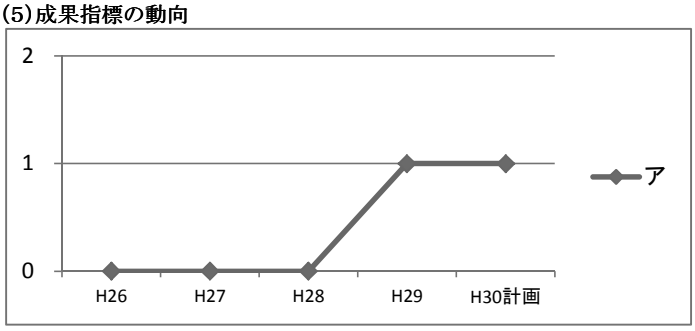
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度	①			
	②③	(2)		
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☑ 順調　☐ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

成果指標ア	成果指標のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☑ 向上　☐ 横ばい　☐ 低下
成果指標イ				☐ 向上　☐ 横ばい　☐ 低下

【コメント】（低下の場合、その理由）

成果動向 比較	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30計画
ア	―	―	0	1	0
イ					

③ 今年度取組事項（30年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
7月	ドイツ・デュッセルドルフ市との卓球交流時に旭市をさらにアピールする。
9月	日本人オリンピアンによる卓球体験会・指導会

今後の方向性
- ☑ 拡大　☐ 現状維持　☐ 見直し
- ☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　　）

平成31年　東京オリンピック前年中にドイツ卓球チームが事前キャンプを実施するかどうか正式に決定する